



## 平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 パラカ株式会社

コード番号 4809 URL <http://www.paraca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 内藤 亨

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 間嶋 正明

TEL 03-6230-2300

四半期報告書提出予定日 平成22年5月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	3,340	12.6	657	41.6	511	59.0	288	98.1
21年9月期第2四半期	2,966	—	464	—	321	—	145	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	6,344.14	—
21年9月期第2四半期	3,113.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	17,716	5,014	28.3	110,231.64
21年9月期	17,608	4,793	27.2	105,454.04

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 5,010百万円 21年9月期 4,793百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
22年9月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
22年9月期 (予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,580	8.6	1,100	8.3	774	7.3	440	24.3	9,679.48

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第2四半期	47,532株	21年9月期	47,532株
② 期末自己株式数	22年9月期第2四半期	2,075株	21年9月期	2,075株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第2四半期	45,457株	21年9月期第2四半期	46,750株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が算出したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。この影響のため、実際の業績は公表している見通しと異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成22年3月31日）における我が国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、海外経済の改善や各種経済対策の効果などから持ち直しを続けており、その持続傾向が徐々に明確になっております。

当社グループの属する駐車場業界においては、住宅ローン減税や住宅版エコポイントなど政府の支援策が追い風となりマンション需要が回復するなど、不動産市況の持ち直しにより建築関係の駐車場利用が回復してきております。

このような中で、当社グループは積極的な営業活動を行い、賃借駐車場の新規開設と不採算事業地の採算向上を進めました。その結果、当第2四半期連結累計期間においては73件826車室の新規開設、29件398車室の減少により、44件428車室の純増となり、3月末現在753件11,005車室が稼働しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期比で増収を確保し、新規駐車場においては採算性の高い事業地の開設を行い、既存駐車場については土地賃借料の見直しや運営コストの低減を行うことにより大幅な増益となっております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,340百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益657百万円（同41.6%増）、経常利益511百万円（同59.0%増）、四半期純利益288百万円（同98.1%増）を計上いたしました。

今後につきましては、既存駐車場において、引き続き採算性を重視した駐車料金や土地賃借料の見直しを行うとともに、営業力の強化による新規駐車場の量的拡大を図ってまいります。

なお、当社グループの具体的な事業区分別の状況は以下のとおりであります。

（賃借駐車場）

当第2四半期連結累計期間においては43件411車室の純増となり、3月末現在においては652件7,453車室が稼働しております。車室数の堅調な増加により、売上高2,594百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

（保有駐車場）

当第2四半期連結累計期間においては1件17車室の純増となり、3月末現在においては101件3,552車室が稼働しております。売上高662百万円（同4.3%減）と微減となりました。

（その他事業）

その他事業に関しては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上及び駐輪場売上により、売上高82百万円（同5.3%増）となりました。

事業区分別の売上高は以下のとおりであります。

事業区分	当第2四半期連結累計期間 （自平成21年10月1日 至平成22年3月31日） 金額（百万円）	前年同期間 （自平成20年10月1日 至平成21年3月31日） 金額（百万円）	前連結会計年度 （自平成20年10月1日 至平成21年9月30日） 金額（百万円）
賃借駐車場	2,594	2,194	4,538
保有駐車場	662	692	1,361
その他事業	82	78	159
合計	3,340	2,966	6,060

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は17,716百万円となり、前連結会計年度末に比べ107百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が減少（104百万円）したものの、有形固定資産におけるリース資産の増加（177百万円）及び新システム導入による無形固定資産の増加（37百万円）によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の部は12,701百万円となり、前連結会計年度末に比べ113百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の増加（101百万円）及び長期借入金の減少（412百万円）によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は5,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ220百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益により利益剰余金が増加（242百万円）したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の27.2%から28.3%となっております。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前連結会計年度末に比べ117百万円減少し、1,452百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は前年同四半期に比べ170百万円増加し、432百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益493百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は前年同四半期に比べ270百万円減少し、155百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出94百万円及び無形固定資産の取得による支出40百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は前年同四半期は293百万円でしたが、当第2四半期連結会計期間は財務活動に394百万円使用いたしました。これは主として、短期借入れによる収入200百万円、短期借入金の返済による支出99百万円及び長期借入金の返済による支出455百万円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、海外経済の改善や各種経済対策の効果などから持ち直しを続けており、その持続傾向が徐々に明確になりつつあります。

当社グループの属する駐車場業界におきましては、世界経済の回復期待を受けてのガソリン価格の値上がりや若干懸念されるものの、不動産取引の活性化による建築関係の利用増加に加え、景気回復による駐車場利用者の増加が期待されます。

このような状況のもと、新規駐車場においては柔軟な契約形態及び精緻な収支予測に基づく案件の獲得、既存駐車場においては駐車料金及びコストの見直しによる収益性の向上を目指してまいります。

以上により、連結業績予想につきましては平成21年11月6日に発表のとおり、売上高65.8億円、営業利益11億円、経常利益7.7億円、当期純利益4.4億円を見込んでおります。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,478,429	1,583,297
売掛金	42,014	41,204
その他	364,021	349,650
貸倒引当金	△182	△736
流動資産合計	1,884,282	1,973,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,072,702	1,105,118
土地	13,696,966	13,653,483
リース資産(純額)	502,848	325,173
その他(純額)	156,174	206,741
有形固定資産合計	15,428,691	15,290,516
無形固定資産	49,207	11,356
投資その他の資産	354,048	333,432
固定資産合計	15,831,947	15,635,305
資産合計	17,716,229	17,608,720
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	62,817	56,440
短期借入金	101,000	—
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	911,648	909,388
未払法人税等	216,273	192,091
賞与引当金	21,192	18,065
その他	297,669	313,152
流動負債合計	1,630,600	1,509,138
固定負債		
社債	360,000	370,000
長期借入金	9,444,117	9,856,636
その他	1,267,070	1,079,322
固定負債合計	11,071,187	11,305,958
負債合計	12,701,788	12,815,096

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,576,807	1,576,807
資本剰余金	1,606,807	1,606,807
利益剰余金	2,118,155	1,875,227
自己株式	△100,841	△100,841
株主資本合計	5,200,928	4,958,000
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,657	4,047
繰延ヘッジ損益	△193,786	△168,423
評価・換算差額等合計	△190,129	△164,376
新株予約権	3,641	—
純資産合計	5,014,440	4,793,624
負債純資産合計	17,716,229	17,608,720

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	2,966,025	3,340,569
売上原価	2,161,112	2,316,214
売上総利益	804,913	1,024,354
販売費及び一般管理費	340,614	367,127
営業利益	464,299	657,226
営業外収益		
受取利息	711	232
受取補償金	—	1,908
その他	1,706	952
営業外収益合計	2,417	3,093
営業外費用		
支払利息	140,238	144,562
その他	4,524	3,902
営業外費用合計	144,763	148,465
経常利益	321,953	511,854
特別利益		
固定資産売却益	—	841
特別利益合計	—	841
特別損失		
固定資産除却損	4,780	9,395
固定資産売却損	2,384	—
販売用不動産評価損	40,087	—
特別損失合計	47,252	9,395
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	274,701	503,300
匿名組合損益分配額	9,461	9,487
税金等調整前四半期純利益	265,240	493,813
法人税等	119,680	205,428
四半期純利益	145,559	288,385



【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	1,467,397	1,661,103
売上原価	1,086,777	1,170,009
売上総利益	380,620	491,094
販売費及び一般管理費	162,256	184,638
営業利益	218,363	306,455
営業外収益		
受取利息	676	216
受取補償金	—	1,908
その他	1,123	368
営業外収益合計	1,799	2,493
営業外費用		
支払利息	70,356	71,816
その他	680	1,941
営業外費用合計	71,037	73,757
経常利益	149,125	235,191
特別利益		
固定資産売却益	—	841
特別利益合計	—	841
特別損失		
固定資産除却損	609	6,241
固定資産売却損	2,384	—
特別損失合計	2,993	6,241
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	146,131	229,791
匿名組合損益分配額	5,673	4,898
税金等調整前四半期純利益	140,458	224,892
法人税等	63,272	92,522
四半期純利益	77,185	132,369

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	265,240	493,813
減価償却費	67,499	105,164
販売用不動産評価損	40,087	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,501	3,126
受取利息及び受取配当金	△837	△359
支払利息	140,238	144,562
有形固定資産売却損益 (△は益)	2,384	△841
有形固定資産除却損	4,780	9,395
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,723	△809
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△266	135
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6,671	△14,213
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,138	6,376
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,103	△5,486
その他	△13,833	11,904
小計	483,153	752,769
利息及び配当金の受取額	837	359
利息の支払額	△139,228	△145,236
法人税等の支払額	△83,422	△175,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	261,340	432,286
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9,002	△16,008
定期預金の払戻による収入	3,000	3,000
有形固定資産の取得による支出	△415,544	△94,211
有形固定資産の売却による収入	10,136	2,907
無形固定資産の取得による支出	—	△40,374
敷金及び保証金の差入による支出	△7,285	△9,877
その他	△7,227	△906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425,922	△155,470
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	200,000
短期借入金の返済による支出	—	△99,000
長期借入れによる収入	640,980	45,000
長期借入金の返済による支出	△360,885	△455,259
社債の発行による収入	400,000	—
社債の償還による支出	△300,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△86,778	—
リース債務の返済による支出	—	△30,760
配当金の支払額	—	△44,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	293,316	△394,693
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	128,734	△117,876
現金及び現金同等物の期首残高	1,562,046	1,570,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,690,780	1,452,913

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

当社グループは、駐車場の運営及び管理に関連する事業を単一の事業として運営しており、これ以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第2四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。